

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月27日

横須賀市長 殿

提出者

住 所 神奈川県横須賀市浦郷町5-2931

氏 名 東邦化学工業株式会社 追浜工場 工場長  
中村 賢二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 046-865-8191

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦化学工業株式会社 追浜工場		自主管理番号 ( 400*8 )
事業場の所在地	神奈川県横須賀市浦郷町5-2931		TEL(連絡先): 046-865-8191
計 画 期 間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日( 1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には)		1643 界面活性剤製造業 (石けん、合成洗剤を除く)
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	12000 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数			257
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	廃油→処理委託→焼却→管理型埋立 廃アルカリ(一部自社濃縮)→処理委託→焼却→再生砂・改良土、管理型埋立 廃酸→処理委託→焼却→管理型埋立 廃プラスチック →処理委託→破碎・選別→再資源化 木くず(パレット)→処理委託→破碎・選別→再資源化 ガラス屑 →処理委託→破碎・選別→再資源化 污泥(一部自社脱水・乾燥)→処理委託→脱水、焼却、コンクリート固化→管理型埋立 混合廃棄物(廃乾電池)→処理委託→焼却→溶融固化・埋立 混合廃棄物(廃蛍光灯類)→処理委託→破碎・洗浄・乾燥・選別・溶融→再資源化		



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
環境管理委員会:工場長、研究所長、各部長で構成し発生抑制・リサイクルを推進。 担当部署:管理部安全環境課			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	8種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	9,630.5 t	
	(これまでに実施した取組)		
	装置洗浄方法の検討に基づく廃水の削減。 ヒューマンエラーによる不適合の撲滅。		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	8種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	8,222.1 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	装置洗浄方法の検討に基づく廃水の削減。 ヒューマンエラーによる不適合の撲滅。 排水処理設備の有効利用による産廃の削減。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	廃プラスチックを分別し、有価販売促進。 カロリーの高い廃油を分別し、有価販売促進。 蒸留装置による廃水の削減。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	廃プラスチックを分別し、有価販売拡大。 カロリーの高い廃油を分別し、有価販売拡大。 蒸留装置による廃水の削減。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,424.8 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
	排水処理場の脱水装置、乾燥装置、AOP・蒸留装置の維持管理・適正運転で安定した減量化。		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	445.0 t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
	排水処理場の脱水装置、乾燥装置、AOP・蒸留装置の維持管理・適正運転で安定した減量化。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t
(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和5年度)目標】	
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	8,005.7 t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	898.4 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	5,866.0 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	802.7 t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6,876.7 t	
(これまでに実施した取組)			
引き続き優良認定処理業者への処理依頼を進める。 再生利用業者優先に考慮して選択する。			

② 計画	【(令和5年度)目標】		
	⑩ 全処理委託量	7,777.1 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	650.0 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	6,037.1 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	800.0 t	
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6,322.0 t		
(今後実施する予定の取組)			
引き続き優良認定処理業者への処理依頼を進める。 再生利用業者優先に考慮して選択する。			
※ 事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。  
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

事業場名称: 東邦化学工業株式会社 追浜工場

別紙一括表

		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	ト	計		
		燃え殻	汚泥	廃油	廃液	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性廃棄物	動物糞尿	金属くず	ゴムくず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	海産物	その他	
①	排出量	2,240.8	610.7	151.6	6,572.5	29.9	20.3								4.5						0.2	9,630.5	
②	②+③ 自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0								0						0	0	0
③	⑤ 自ら燃回を行った量	0	0	0	0	0	0								0						0	0	0
④	⑦ 自ら中間処理により減量した量	328.6	0	0	1,086.2	0	0								0						0	1,424.8	0
⑤	③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0								0						0	0	0
⑥	⑩ 全処理委託量	1,912.2	610.7	151.6	5,276.3	29.9	20.3								4.5						0.2	8,005.7	0
⑦	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	217.9	527.9	132.3	0	0	20.3								0						0	898.4	0
⑧	⑫ 再生利用業者への処理委託量	326.1	208.8	0	5,276.3	29.9	20.3								4.5						0.1	5,866.0	0
⑨	⑬ 認定燃回業者への処理委託量	2.4	0	0	800.3	0	0								0						0	802.7	0
⑩	⑭ 認定燃回業者以外の燃回業者を行う業者への処理委託量	1,583.7	610.7	151.6	4,476.0	29.9	20.3								4.5						0	6,876.7	0
⑪	⑮ 当該事業場における排出量	2,150.0	600.0	140.0	5,280.0	28.0	20.0								4.0						0.1	8,222.1	0
⑫	※1 自社の他事業場からの搬入量																						
⑬	⑯ 自ら直接再生利用する量																						
⑭	⑰ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																						
⑮	⑱ 自ら中間処理する量	350.0			180.0																		530.0
⑯	⑳ ④のうち燃回を行う量																						
⑰	㉑ ④のうち中間処理後の残存量	55.0			30.0																		85.0
⑱	㉒ ④のうち中間処理により減量する量	295.0			150.0																		445.0
⑲	㉓ ④のうち中間処理後に再生利用する量																						
⑳	㉔ ④のうち中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																						
㉑	㉕ ④のうち中間処理後に自社の他事業場での処理量																						
㉒	㉖ ④のうち中間処理後の処理委託量	55.0			30.0																		85.0
㉓	㉗ b-1 中間処理委託量	55.0			30.0																		85.0
㉔	㉘ 再生利用前委託量	55.0			30.0																		85.0
㉕	㉙ 最終処分前委託量																						
㉖	㉚ 下水等放流前委託量																						
㉗	㉛ b-2 最終処分委託量																						
㉘	㉜ B 直接処理委託量	1,800.0	600.0	140.0	5,100.0	28.0	20.0								4.0						0.1	7,692.1	
㉙	B-1 中間処理委託量	1,800.0	600.0	140.0	5,100.0	28.0	20.0								4.0						0.1	7,692.1	
㉚	再生利用前委託量	600.0	200.0		5,100.0	28.0	20.0								4.0						0.1	5,952.1	
㉛	最終処分前委託量	1,200.0	400.0	140.0																		1,740.0	
㉜	下水等放流前委託量																						
㉝	B-2 最終処分委託量																						
㉞	㉜及び自ら中間処理後の処理委託量	1,855.0	600.0	140.0	5,130.0	28.0	20.0								4.0						0.1	7,777.1	
㉟	㉜のうち優良認定処理業者への処理委託量		510.0	120.0			20.0																650.0
㊱	㉜のうち再生利用業者への処理委託量	655.0	200.0		5,130.0	28.0	20.0								4.0						0.1	6,037.1	
㊲	㉜のうち認定燃回業者への処理委託量				800.0																		800.0
㊳	㉜のうち認定燃回業者以外の燃回業者を行う業者への処理委託量	1,200.0	600.0	140.0	4,330.0	28.0	20.0								4.0								6,322.0

令和5年度目標

産業廃棄物処理計画書

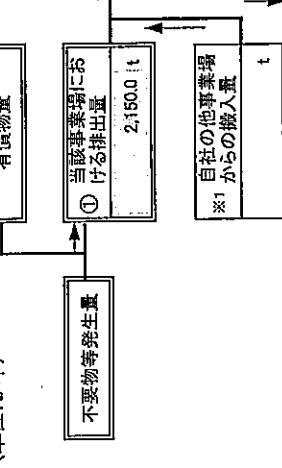
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

1. 汚泥

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに転載してください。

(単位: t/年)

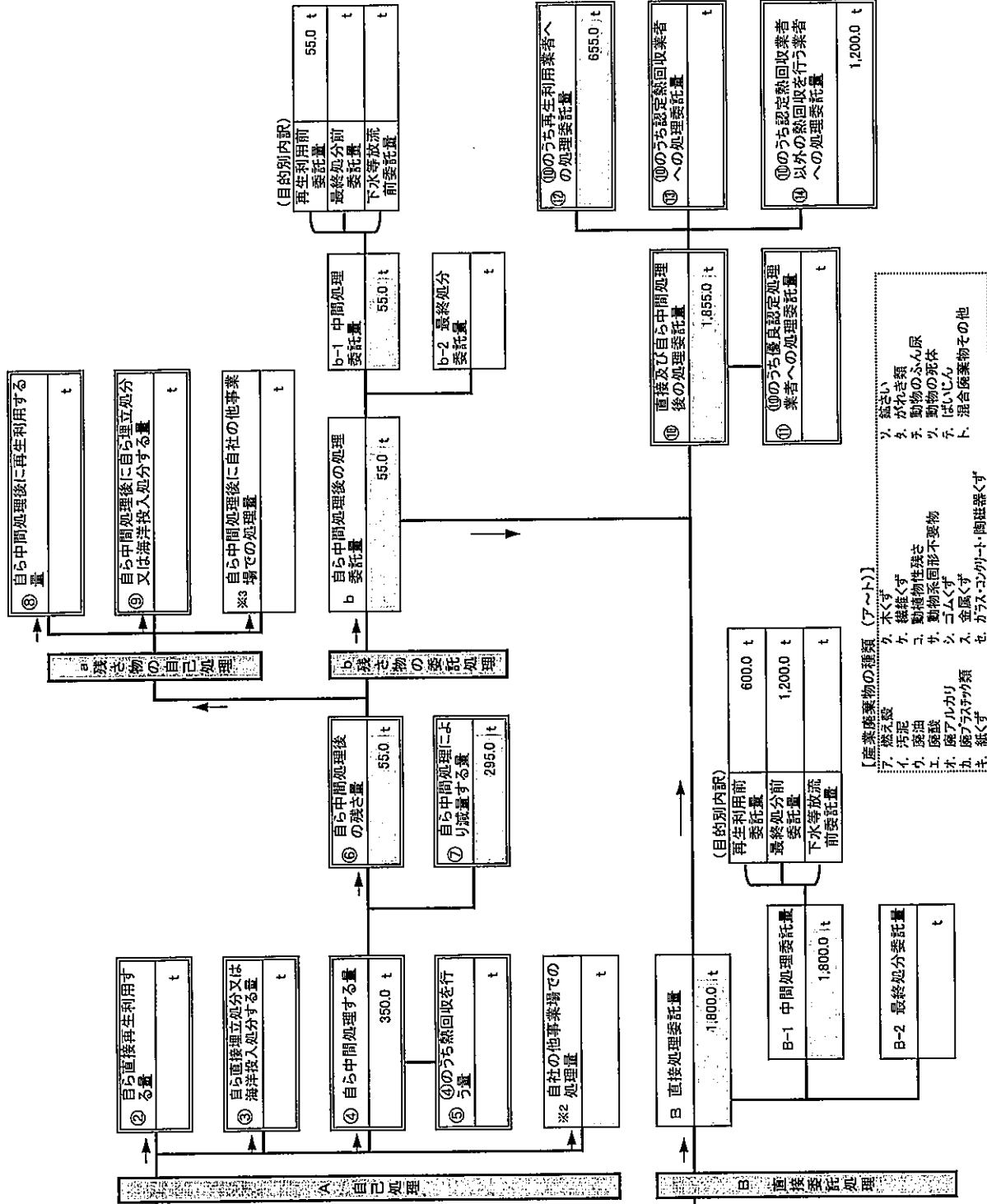


注) 右上のプロフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することさらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2,240.8 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	328.6 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,912.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	217.9 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	326.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	2.4 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,583.7 t

事業場名称 : 東邦化学工業株式会社 追浜工場

2-2 法定 自主



- 【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃アルカリ
  - オ. 廃プラスチック類
  - カ. 繊維くず
  - キ. 金属くず
  - ク. 動物性残渣
  - コ. 動物系固形不燃物
  - サ. ゴムくず
  - シ. 金属くず
  - ス. カラス・コンクリート・陶磁器くず
  - セ. 鉱さい
  - ソ. がれき類
  - タ. 動物のふん尿
  - チ. 動物の死体
  - ツ. ばいじん
  - テ. 混合廃棄物その他



産業廃棄物処理計画書

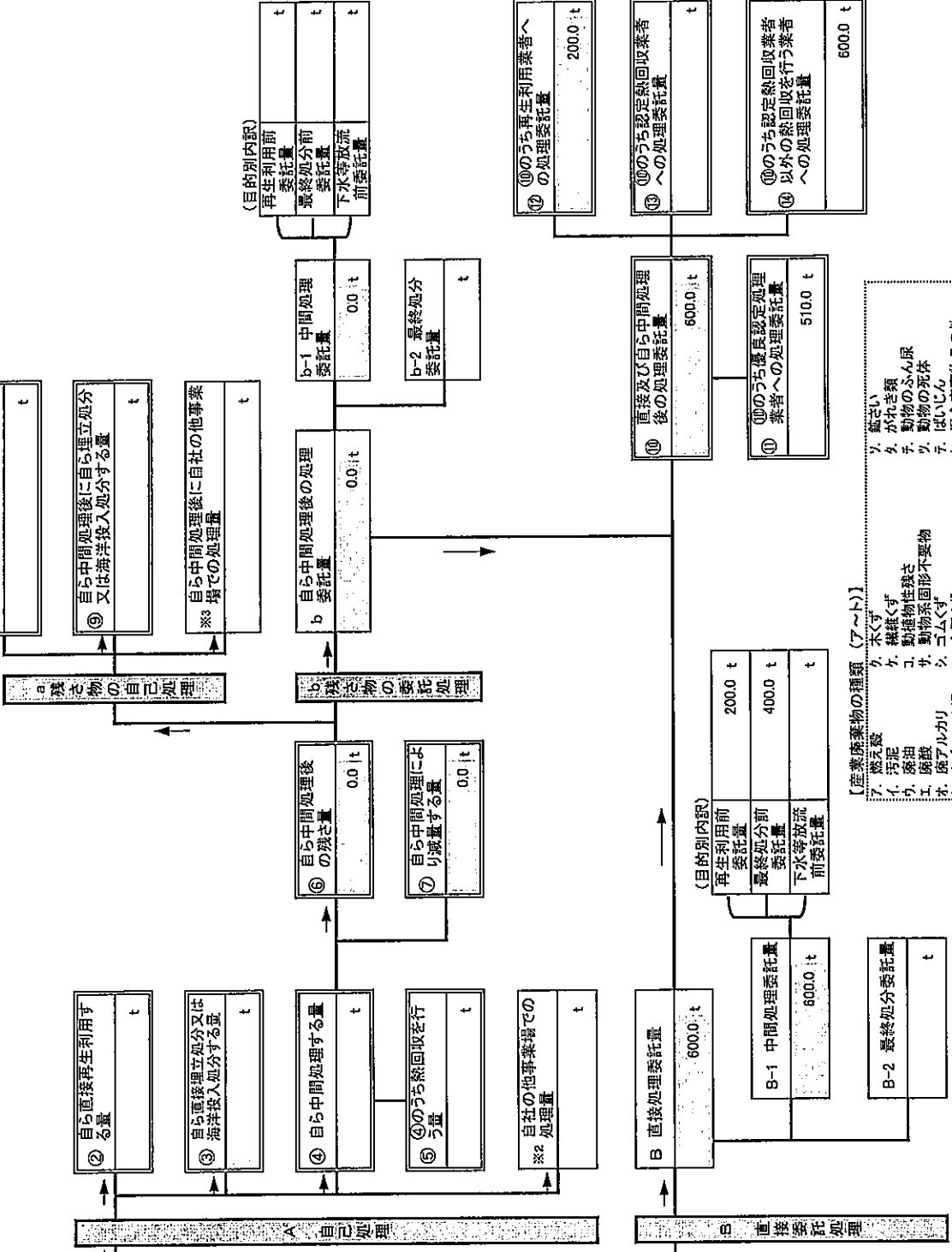
事業場名称：東邦化学工業株式会社 追浜工場

別紙処理フロー—  
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

ウ、廃油  
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローには別シートに記載してください。

(単位：t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することさらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	610.7 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	610.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	527.9 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	208.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	610.7 t

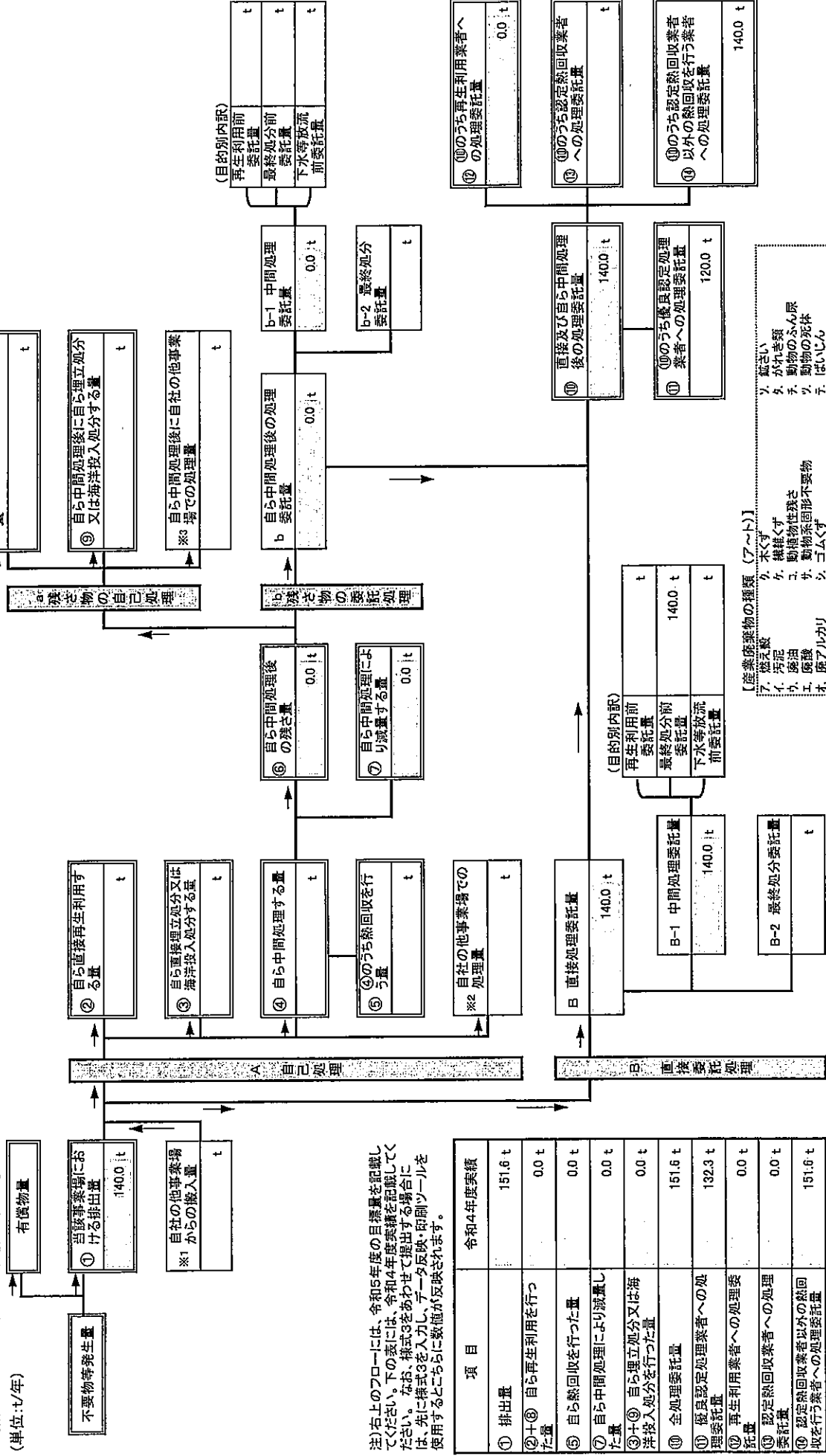
- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 動物性残渣
  - コ. 動物性残渣
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. コムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. ぬきざい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. はいじりん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ことの目標量と処理計画

【産業廃棄物の種類】  
 工、廃酸  
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
 (単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	151.6 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	151.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	132.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	151.6 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ク. 金属くず
  - ケ. 動物性残さ
  - コ. 動物系固形不要物
  - サ. コムくず
  - シ. 金属くず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 雑さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - リ. 動物の死体
  - テ. はいいしん
  - ト. 混合廃棄物その他

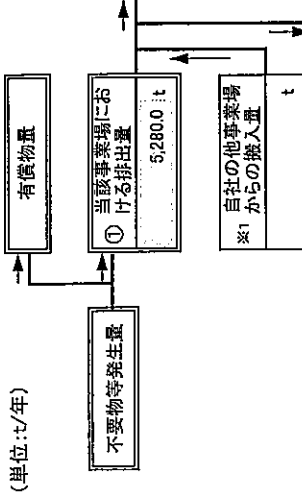
産業廃棄物処理計画書

事業場名称：東邦化学工業株式会社 通浜工場

別紙処理フロー—  
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

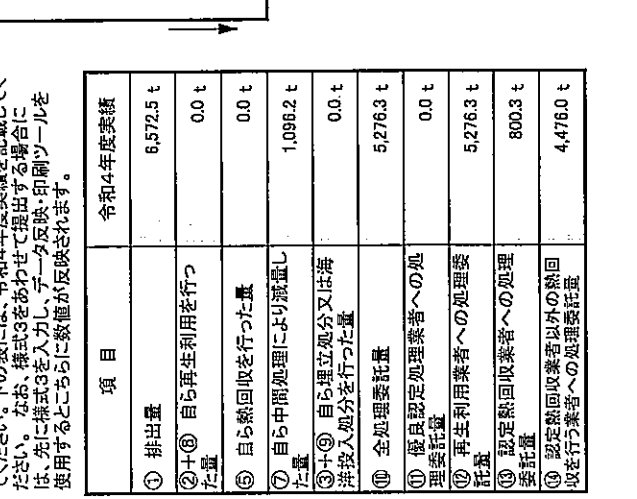
フローに記載した産業  
廃棄物の種類  
オ、廃アルカリ

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	6,572.5 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	1,096.2 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	5,276.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	5,276.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	800.3 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4,476.0 t

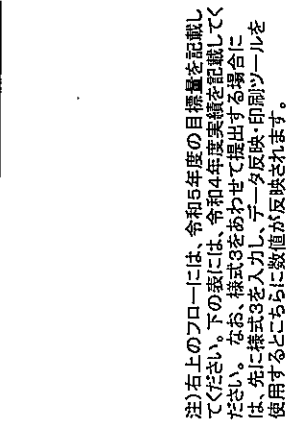
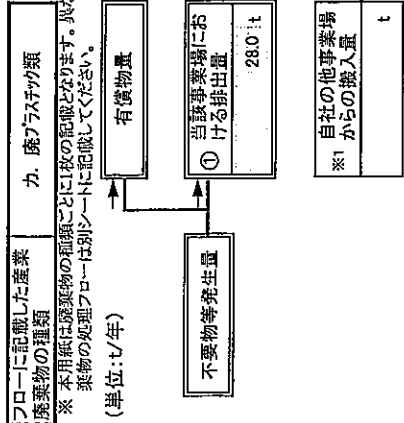


産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

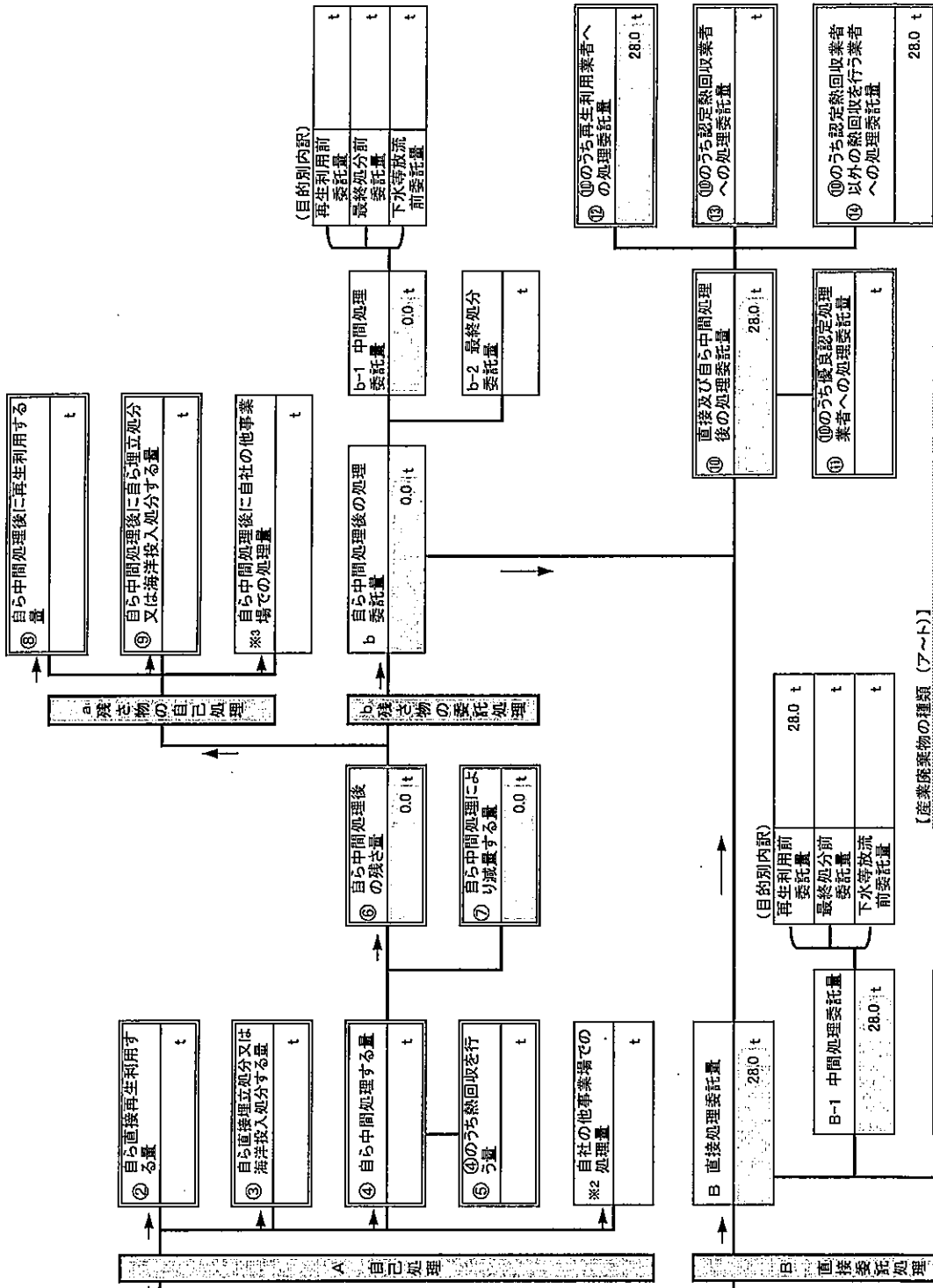
フローに記載した産業廃棄物の種類  
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。  
 (単位: t/年)



項目	令和4年度実績
① 排出量	29.9 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	29.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	29.9 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	29.9 t

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

事業場名称 : 東邦化学工業株式会社 追浜工場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 動物性残渣
  - コ. 動物系固形不要物
  - サ. ゴムくず
  - シ. 金属くず
  - ス. 金属
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 銅さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

ク、木くず

① 当該事業場における排出量 200.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量 t

不燃物等発生量 (単位:t/年)

② 自ら直接再生利用する量 t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 t

④ 自ら中間処理する量 t

⑤ ④のうち熱回収を行う量 t

※2 自社の他事業場での処理量 t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量 0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量 0.0 t

⑧ 自ら中間処理後の処理委託量 0.0 t

⑨ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑩ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑪ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑫ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑬ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑭ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑮ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑯ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑰ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑱ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑲ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑳ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉑ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉒ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉓ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉔ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉕ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉖ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉗ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉘ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉙ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉚ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉛ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉜ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉝ ⑧のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉞ ⑧のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉟ ⑧のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

【木くず】には業種指定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 (該当業種)は木くず又は不燃物の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製練業、輸入木材の卸売業及び物品製造業に属するもの、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)。  
 【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット、シートの裏面の裏面のために使用したパレット、シートの裏面。

③ 自ら中間処理後に再生利用する量 t

④ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量 t

※3 自社の他事業場での処理量 t

⑤ 自ら中間処理後の処理委託量 0.0 t

⑥ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑦ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑧ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑨ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑩ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑪ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑫ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑬ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑭ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑮ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑯ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑰ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

⑱ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

⑲ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

⑳ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉑ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉒ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉓ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉔ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉕ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉖ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉗ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉘ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉙ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉚ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉛ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉜ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㉝ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

㉞ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㉟ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

㊱ ⑤のうち再生利用業者への処理委託量 t

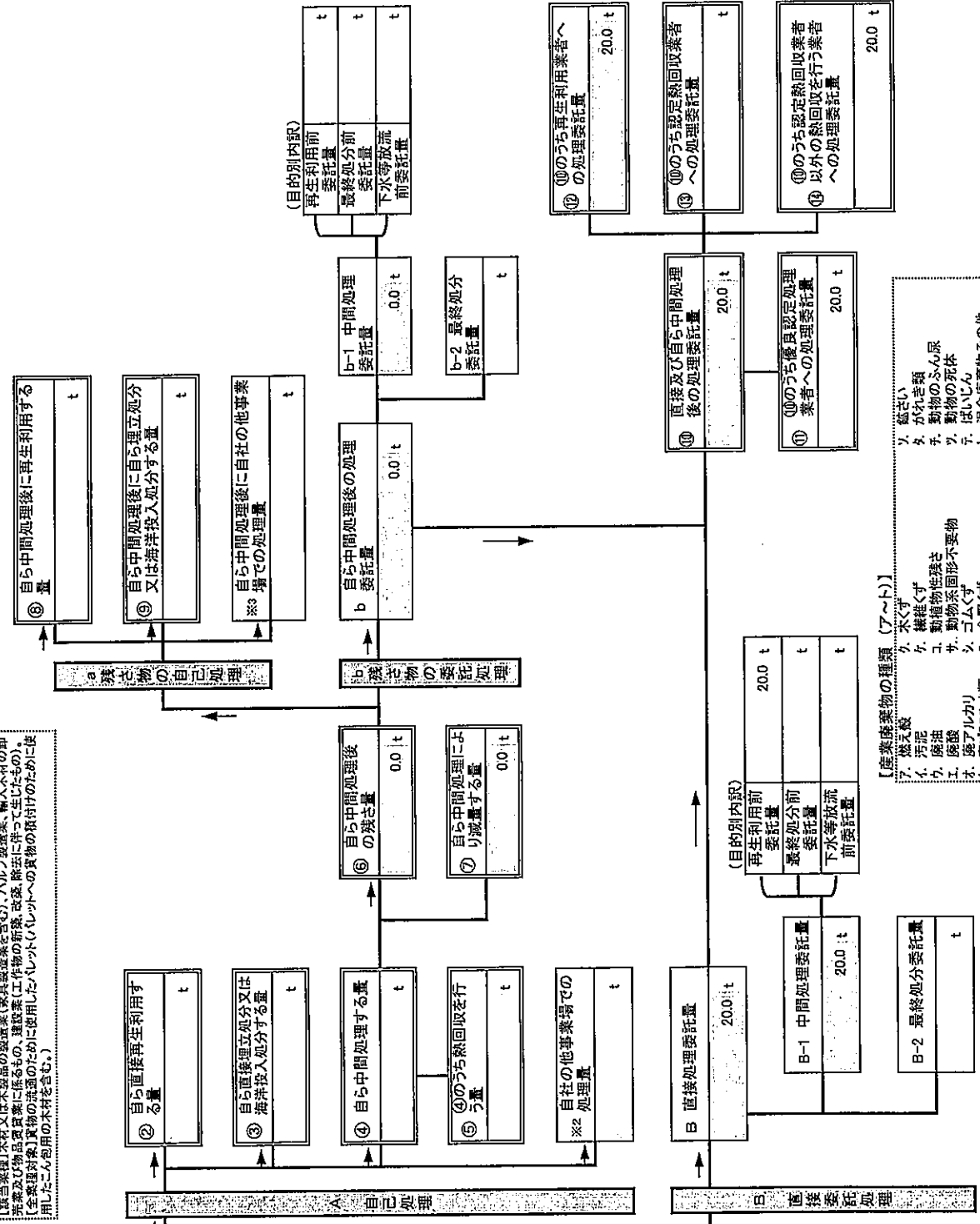
㊲ ⑤のうち認定熱回収業者への処理委託量 t

㊳ ⑤のうち廃良認定処理業者への処理委託量 t

事業場名称 : 東邦化学工業株式会社 追浜工場

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してあります。下の表には、令和4年度実績を記載してあります。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	20.3 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑤ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑥+⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑧ 全処理委託量	20.3 t
⑨ 優良認定処理業者への処理委託量	20.3 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	20.3 t
⑪ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20.3 t



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 灰泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 繊維くず
  - ケ. 動物のふん尿
  - コ. 動物の死体
  - サ. 動物系固形不要物
  - シ. ゴムくず
  - ス. 金属くず
  - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - ソ. 越さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物の死体
  - ツ. はいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

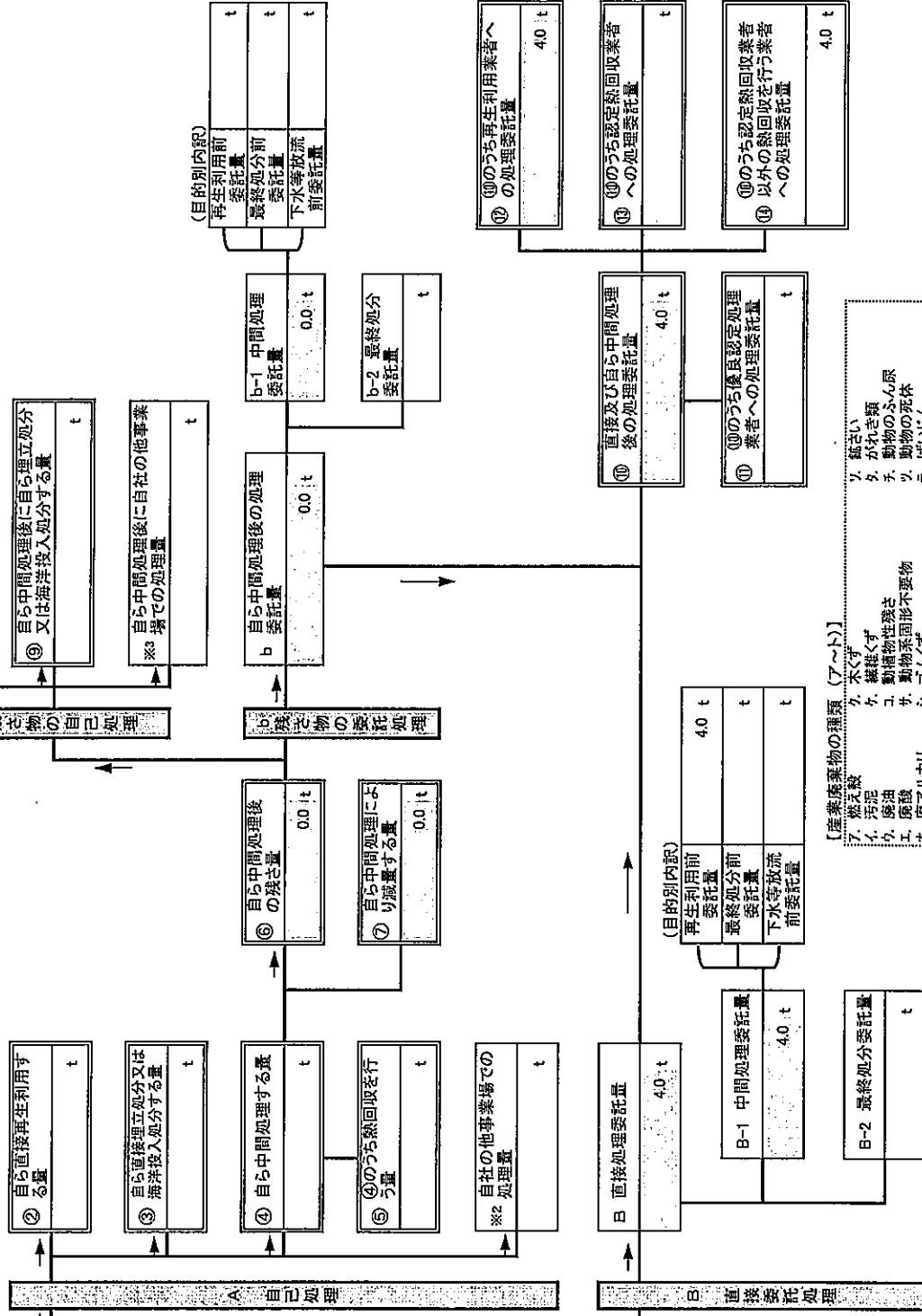
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業セ、ガラス・コンクリート・陶磁器く廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



事業場名称：東邦化学工業株式会社 追浜工場

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を記入し、データ反映・印刷ツールを使用するとどちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	4.5 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	4.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	4.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.5 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
  - イ. 汚泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. 廃アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性残さ
  - ク. 動物系固形不要物
  - セ. コムくず
  - ス. アルミくず
  - ズ. 金属くず
  - エ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- 【その他】
- ソ. 鉱さい
  - タ. がれき類
  - チ. 動物のふん尿
  - ツ. 動物の死体
  - テ. ばいじん
  - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

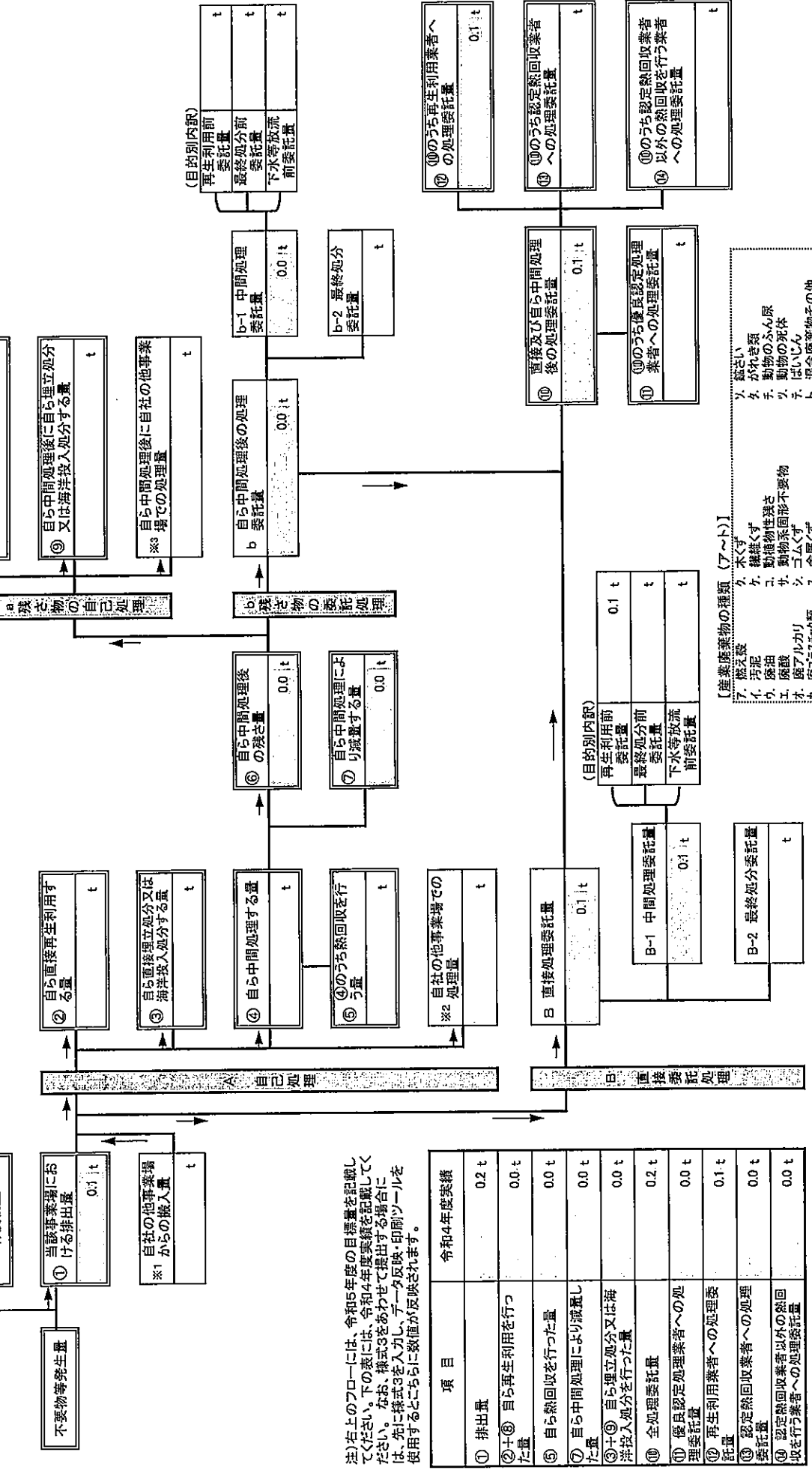
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【産業廃棄物の種類】  
 ① 混合廃棄物  
 ② 紙くず  
 ③ 繊維くず  
 ④ 金属くず  
 ⑤ 石膏  
 ⑥ 廃油  
 ⑦ 汚泥  
 ⑧ 動物系固形不要物  
 ⑨ 動物の死体  
 ⑩ はいしん  
 ⑪ その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】  
 ア. 紙くず  
 イ. 繊維くず  
 ウ. 金属くず  
 エ. 石膏  
 オ. 廃油  
 カ. 動物系固形不要物  
 キ. 動物の死体  
 ク. はいしん  
 コ. その他

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.2 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t